

《別紙》

1. 開催年月日 令和3年3月

2. 開催場所 なし

3. 委員出席

委員総数 6名

レポート提出委員数 5名

レポート出席委員名

下川 隆 委員長

山本恒安 委員

小松真弓 委員

伊藤理香 委員

賀陽智之 委員

レポート未提出委員名

鈴木 悟 委員

回答放送事業者側出席者

飯島千ひろ（制作室室長・ディレクター）

4. 議 題

「絆～KIZUNA～」毎週金曜日 20時15分～21時放送

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音したCDを聴いていただき書面にて提出。

6. 審議内容

(下川委員長) 今回の西東京商工会青年部の番組の絆ですが、何度も最後まで聴こうと思ったが、進行役のキャベツさんのイントネーションが拒絶反応をお越し全部の放送は聴けなかった。ラジオ放送でゆるキャラだからと言って中途半端なイントネーションのキャラの喋りは、公共電波を使って声だけの出演でのキャラ喋りは厳しいと思った。

(小松) パーソナリティのキャベツさんの軽快なお話がとても楽しく、明るい番組の雰囲気になっていた。今回のゲストは二人とも、子育て中で仕事と子育ての両立の話題が共通していて、若い方たちにはとても共感できる話題だと思った。西東京商工会青年部のママたちがハンサムママで起業した経験など、西東京市産業振興課が実施しているハンサムママのまさに成功例だ！と聞いていて感じた。地域でこのラジオを聴いている若い方々が自分にも可能性があると感じてくれたいいなと思った。

(伊藤) 全体的にはとても聞きやすい番組でした。但し、聞き始めの段階では、秋葉さんの『にゃべ』という語尾が気になり、内容に集中できなかった。しかしながら、聞いている間にその話し方にも慣れた。西東京市に引っ越してきたばかりの方や、西東京市以外の方々などがお聞きになった場合、なんだろう？と思っても理解できないままに話が進んでしまったのは残念。詳細は、市のHPなどで検索するにしても、概要もしくは自分の実例をもっと具体的に紹介いただければ、もっと話に引き込まれていき、西東京市と商工会の取り組みに共感を得られたと思う。全体的には、働くママさんたちのカフェでのおしゃべりを盗み聞きしてしまっているような感覚になる番組だったが、そこも親近感を持ってよい点であったように感じた。

(賀陽) 45分の長尺を途切れることなくキャベツさんがお話されていて単純にすごいと感じた。前半は「デザイン」のお話、後半は「育児」のお話、切れることなく会話をされていて、終始盛り上げていたキャベツすごい。高橋さんと浅見さんの声質が似ているので、どちらがどちらかわからなくなることがあった。葉書の読み方など、すごく上手くて勉強にな

った。

商工会のラジオなので、商工会でどんなことをやっているのかを知りたかった。

(山本) 内容については、女性活躍時代にあったもので、働き方や日常生活の悩みなどを具体的に解決策含め放送されており、有益な番組だと思う“キャベナ“が多い話し方は、人によっては、鼻につくかもしれない。言っているキャベツさんの方も、時々キャラを忘れていて可愛さはあるが、いきなり曲がかかるのは、その時間ももったいないと思う。より多くの働き方の紹介や日常生活の悩みなどを取り入れた方がよりいいと思う。スタジオの窓を開けて換気をしているなど、放送局側の対策を取っている、という安心感をリスナーに伝えていることは、今の社会状況だと必要だと思った。

(青木ディレクター) 今回『内容』と『雰囲気』という部分に関して一定の評価をいただけたのかと思う。ゲスト出演をしていただいたお二人に関しては秋葉さんの御友人ということもあり、主婦として、クリエイタービジネスに携わるものとして、起業家としてという部分において深く掘り下げたお話をして頂く事ができ、他番組との差別化が出来たのではないかと。また西東京市の取り組みである『ハンサムママプロジェクト』が起点となっているという部分で、地域の取り組みという点も盛り込めたと思う。ご指摘いただきましたイントネーションの件について、キャラクターの個性による表現というものが、どの程度の時間放送に耐え得るかという点で、非常に貴重なご指摘であり、一層の検討が必要であるものと受け止めている。たとえ広く多くの方にお聴きいただく性質でないとしても、耳にした方の気分を害する可能性が高い演出であれば、見直す必要が出てくるものと思っている。これからも引き続き、どのような番組が求められているのかを模索しながらディレクションを行っていきたく。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

自社放送 事務所への備え置き 自社 HP への掲載

9. その他の参考事項

なし